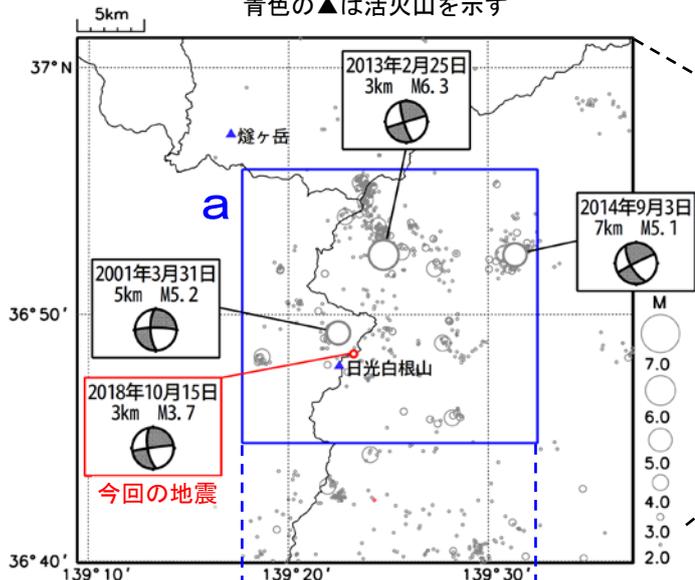


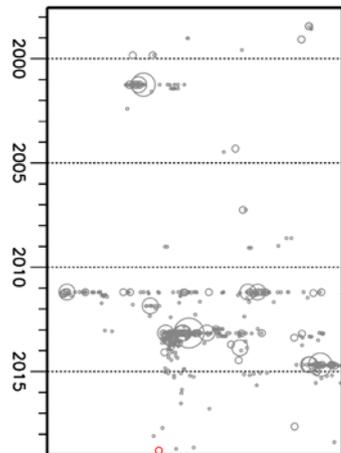
10月15日 栃木県北部の地震

震央分布図

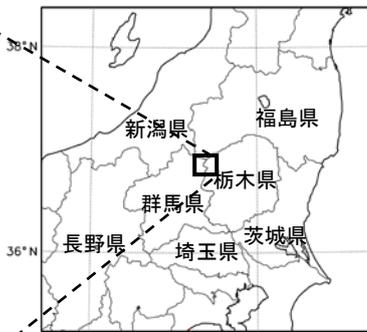
(1997年10月1日~2018年10月31日、
深さ0~20km、 $M \geq 2.0$)
2018年10月の地震を赤く表示
青色の▲は活火山を示す



領域a内の時空間分布図 (東西投影)

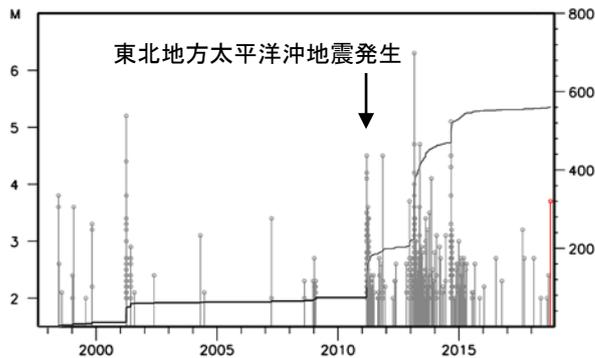


2018年10月15日16時10分に栃木県北部の深さ3kmで $M 3.7$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。



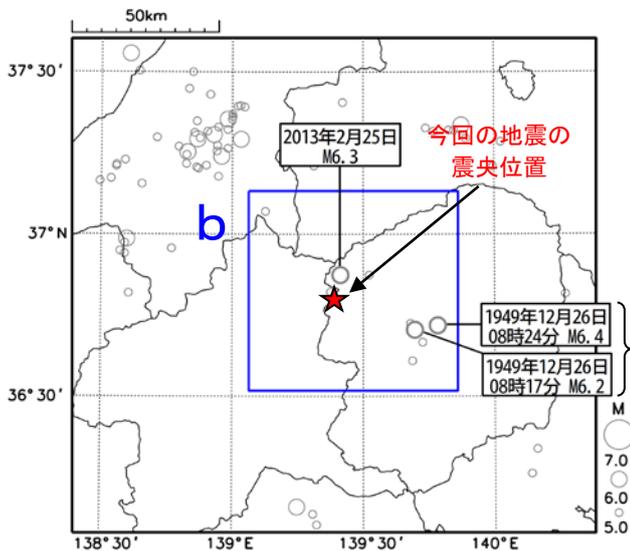
197年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発になり、2013年2月25日に $M 6.3$ の地震 (最大震度5強) が発生した以降は、さらに活発になった。

領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日~2018年10月31日、
深さ0~40km、 $M \geq 5.0$)



今市地震

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、1949年12月26日に $M 6.2$ と $M 6.4$ の地震が短い時間で連続して発生し (今市地震)、死者10人、負傷者163人、住家全壊290棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図

